



Data 2023-62

監督・脚本: 荻上直子

出演: 筒井真理子 / 光石研 / 磯村勇斗 / 安藤玉恵 / 江口のりこ / 平岩紙 / 津田絵理奈 / 花王おさむ / 柄本明 / 木野花 / キムラ緑子

👁️👁️ みどころ

近時、女性監督の活躍が目覚ましいが、日本でもポチポチと。その一方の旗手たる荻上直子が、長年温めてきたオリジナル脚本で勝負！

折りしも、安倍晋三元首相銃撃事件で旧統一教会が再注目されているが、“緑命会”なる新興宗教は一体ナニ？本作で百面相の演技(?)を見せる女優、筒井真理子演じる平凡な主婦・依子はなぜ今それにのめり込んでいるの？

『どうする家康』に見る家康の毎回の決断は歴史的に検証されているが、すべてオリジナルの本作では、こんな場合、あんな場合、どうする依子？

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■荻上直子オリジナルの“絶望エンターテインメント”とは？■□■

日本でも近時、女性監督の活躍が目立っているが、荻上直子監督はその一方の旗手。しかし、私は“映像作家”と呼ばれる彼女の映画は、『めがね』(07年)も『彼らが本気で編むときは、』(17年)も『川っぺりムコリッタ』(21年)も観ておらず、『かもめ食堂』(05年)、『シネマ15』193頁)しか観ていない。本作は、そんな彼女が長年温めてきたオリジナル作品だ。

そんな本作のチラシには、『「あなたの犯した罪は、なかったことにはならない」』痛快爽快！絶望エンターテインメントの誕生』の文字が躍っているが、“絶望エンターテインメント”って一体ナニ？荻上監督のオリジナル脚本に基づく、今ドキの日本には珍しい個性豊かな名作をしっかり鑑賞したい。

■□■タイトルの意味は？“緑命会”とは？“緑命水”とは？■□■

「波紋」とは「水面に生じる波の模様」のことだが、なぜ本作はそれをタイトルに？

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、その直後の福島第一原発、第二原発事故を伴ったから、放射能汚染問題が発生し、その不安は日々の飲料水に及んだ。そのた

め、ペットボトルを求めめる人々がスーパーに殺到したのは当然だ。主婦目線の荻上監督は、本作をそんなシークエンスからスタートさせている。

夫の修（光石研）、高校生の息子・拓哉（磯村勇斗）と共に住宅街の一軒家に住んでいる主婦・依子（筒井真理子）は、“要介護”状態になっている義父の世話をしながら日常生活を送っていた。しかし、東日本大震災と原発事故によってその日常生活は一変！ところが、“波紋”はそれだけではなく、庭に花をいっぱい植え、その世話を趣味（生きがい？）にしていた修がある日失踪してしまったから、さあ大変だ。それを考える暇もなく、続いて義父が死亡。その葬式を無事終えたと思ったら、今度は拓哉が九州の大学に入り、卒業後も実家に戻らず九州で就職したらしい。

そのため、今や一人暮らしとなった依子は、スーパーのレジ係のパート仕事をしながら1人で一軒家に住んでいたが、そこで目立つのは、あの綺麗なお花でいっぱいだった庭が枯れ山水の庭に変わっていること。そして、依子が“緑命会”という新興宗教に入っていることだ。しかして、緑命会ってナニ？そして、依子が毎日食事前に少しずつ飲みながら、家の中にいっぱい溜め込んでいる“緑命水”って一体ナニ？

■□■信じる者は救われる？筒井真理子の演技力に注目！■□■

本作で依子役を演じる女優は筒井真理子。私は彼女を『淵に立つ』（16年）（『シネマ38』79頁）と『よこがお』（19年）（『シネマ45』181頁）で観たが、深田晃司監督が両作で続けて主演女優に抜擢しただけあって、彼女の演技力は素晴らしい。

朝日新聞における本作の批評では、「正直に 神業の百面相」のタイトルで、「一体いくつの顔を持っているのだろう。「波紋」は彼女の「顔芸」を堪能する喜劇だと言える。」から始まり、「顔、顔、顔・・・。神業の百面相を堪能するうち、この映画は悲劇の体裁を取った喜劇なのだ気づく。最後の顔がまた最高に決まっている。」で終わっている。さらに、ネタバレ覚悟で、その本文中の核心部分を掲げれば、「修に接する時の、依子の恐ろしいまでの無表情。宗教の集会に出ている時の、張り付いた笑顔。修が使う歯ブラシで洗面台の汚れをこそげ落とす時の、異様に光る目、かすかに上がる口角。スーパーでクレーム男を撃退する時の、迫力満点の視線。珠美に年齢を聞いた依子に対し、修が「失礼だよ」とたしなめた時の、修をねめつける般若の形相。」と書かれている。

2022年7月8日の安倍晋三元総理銃撃事件以降、旧統一教会問題が再び大きな社会問題となり、新興宗教の問題点があれこれ議論されているが、さて緑命会なる新興宗教と、そして緑命水とは？

■□■11年後に夫が突然帰宅！どうする依子？■□■

亭主、元気で留守がいい。そんな妻の本音（？）が一般に語られている（？）とすれば、本作のように、亭主がある日突然家出して帰ってこなければ、なお良い。もちろん生活費が入らないのは困るが、その分、亭主の世話をする必要はない上、住む家は保証されているから、むしろその方が妻は嬉しいかも・・・？さらに、息子も九州で就職してしまえば

女一人、何の制約も受けず、ただひたすら緑命会で生きていけるから最高の幸せ！

そう思っている(?)と、なんと失踪から11年後の今日、夫が突然帰ってきたから、さあ依子はどうするの?NHK大河ドラマ『どうする家康』では、何かと軟弱な若き日の家康が毎回「どうする家康!」と決断を迫られているが、依子の場合、夫を追い出すという選択肢はあり得ない。また「俺、末期のガンなんだ」と言われ、しょぼくれた姿を見せつけられると、イヤイヤながら再び同居生活を送らざるを得ないことに。もともと、保険のきかない高額なガン治療のことを聞かされた依子が、その出費を渋っていると、「この家の名義は俺なんだぞ!」と夫の本音がぶちまけられたから、依子の気持ちは如何に?末期がんの亭主なら、ほどほどの治療で早く死んでくれるのがベスト!そう思ったかどうかは、依子の顔演技だけではわからないが、ある日、依子がスーパーから帰宅すると、修が庭先で倒れていたから、こりゃラッキー・・・?

■□■息子がろうあの子と一緒に帰宅! どうする依子? ■□■

依子と失踪した夫・修の夫婦関係を見ていると、その一人息子・拓哉は大変な思いをしたことが容易に推察できる。その意味で、あえて地元ではなく九州の大学へ行き、九州の企業に就職した拓哉の選択は正しかったと思われるが、その拓哉がある日、ろうあ者でしかも5歳も年上の女・珠美(津田絵里奈)を連れて帰宅してきたから依子はビックリ。2、3日の東京見学を付き合うくらいならOKだが、結婚を決めている上、珠美から既に妊娠していると告げられると、一度は「許しません!」と公言したものの、事態が依子に不利なことは明らかだ。さあ、どうする依子?

■□■緑命会の実態は?依子の友達の実態は?隣人は? ■□■

安倍元首相の銃撃事件を巡っては、実行犯の動機の背景に旧統一教会への遺恨があることが明らかになった。そのため、マスコミは改めてその実態を追及し公表しているが、橋本昌子(キムラ緑子)を教祖とする信仰宗教“緑命会”の実態とは?旧統一教会では、韓国の京畿道加平にある巨大な協会本部での合同結婚式がやけに目立つが、本作では緑命会の集まりにおけるダンスシーン(?)をはじめとする、さまざまな奇妙な儀式に注目!

他方、荻上監督の人間観察力は並々ならぬもの!そう感じさせるのは、①依子が勤務するスーパーの同僚(清掃員)で、市民プールでの水泳を勧める水木おばさん(木野花)、②緑命会の信者である小笠原ひとみ(江口のりこ)や伊藤節子(平岩紙)、③依子の自宅の隣人で、猫の越境侵入(?)を巡ってトラブルになる渡辺美佐江(安藤玉恵)、④依子のパート先のスーパーで色々とケチをつけて「半額にしろ!」と要求する迷惑な客、門倉太郎(柄本明)等々のバラエティー豊かな“変なおじさん”、“変なおばさん”が次々と登場するので、その奇妙なキャラをしっかりと観察したい。もともと、そう考えると本作では、主人公として全編出ずっぱりになっている依子その人が最も奇妙なキャラなのかも?

2023(令和5)年6月2日記